



自律した学習者を育てる教師の養成プログラム TEX

Teacher Education Program for the Transformation

20241206

中央教育審議会 教員養成部会

国立大学法人 兵庫教育大学

自律した学習者を育てる教師の養成プログラム

ー アジャイル型手法を導入したカリキュラム開発 ー

TEX Teacher Education program
for the Transformation

(1) 先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発

① 新・教員養成スタンダードの策定

新・スタンダードの項目に即したテーマ設定で教職科目体系を精緻化＋フレキシブルな改善システム

新・兵庫教育大学教員養成スタンダード

- ▶ e-ポートフォリオや資質・能力ごとの GPA による可視化システム

② 先導的・革新的教職科目の開発

- テーマ1 学習者中心のデザイン、ファシリテーターとしての教師の役割、インクルーシブ教育
- テーマ2 EdTech、教育データの活用および STEAM 教育
- テーマ3 教師の連携・協働による教育体制の構築のための教育
- テーマ4 教職大学院共通5領域に加える新たな領域科目の開発とその汎用化

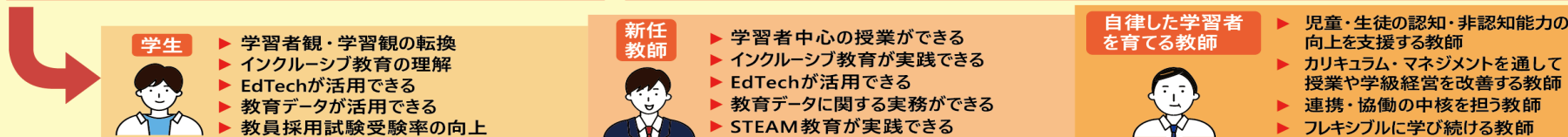
(2) 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

- ▶ アジャイル型手法とリンクした社会的インパクト評価ツールの開発
- ▶ 全国ネットワークによる成果発信 (教員養成スタンダード・カリキュラム・FD)

(3) 取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

- ▶ 5年一貫による教員養成など教員養成の制度改革への貢献
- ▶ 教育大学(学部)における専門職養成機能の強化



民間企業

13社

- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ 社会的インパクト評価ツール開発 など

Global Language Institute
Google intel LITALICO
MM総研 アワーズ キャリアリンク
錦城護謄 神戸新聞社
ダイワボウ情報システム 東京書籍
本郷さくら総合法律事務所 リクルート
(※ アルファベット・五十音順)

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

国立大学法人
兵庫教育大学

先端教職課程カリキュラム開発センター

.. アジャイル型手法によるカリキュラム開発 ..

2つの研究開発部門を設置 (専任・兼任合わせ38人の教員を配置)

- ▶ 先端教職科目研究開発ラボ
- ▶ 教職課程改善システム研究開発ラボ

教員養成・研修高度化センター

現職教員研修
(採用・研修機能)に特化

大学等

10機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ 5年一貫教育

上越教育大学 滋賀大学
岡山大学 鳴門教育大学
放送大学 立命館大学
芸術文化観光専門職大学
岩手大学 日本産業技術教育学会

公共団体・公的団体等

2機関

- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ STEAM教育

加東市商工会 加東市商工業振興協議会

教員研修機関

2機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発

教職員支援機構 兵庫県立総合教育センター

社会教育施設

1施設

- ▶ STEAM教育

篠山チルドレンズミュージアム

全国教育長・学校長協議会等

6団体

- ▶ 教職科目体系見直し など

全国都道府県教育長協議会
全国都市教育長協議会
全国町村教育長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会
全国高等学校長協会

教育委員会・学校

8機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ STEAM教育

兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会
堺市教育委員会 加西市教育委員会
南あわじ市教育委員会
兵庫県立豊岡高校 兵庫県立篠山鳳鳴高校
兵庫県立柏原高校

教員養成フラッグシップ大学推進委員会

中央教育審議会



「学び続ける教師」を目指して

■ 兵庫教育大学が目指す教師像

皆さんは、「世界一、素晴らしい授業」ってどんな授業だと思いますか？あるいは、「10年前の素晴らしい授業」と「10年後の素晴らしい授業」とは果たして同じだと思いますか？

言うまでもなく、唯一無二の「世界一、素晴らしい授業」は存在しません。また、「10年前の素晴らしい授業」は、10年後にも「素晴らしい授業」と評価されるとは限りません。しかし、「その時のAさんにとっての素晴らしい授業」は確実に存在しています。教育は、一人一人の子供の実態に応じて、その個別具体性に寄り添いながら、ねらいとする資質・能力を育成していくことが求められます。一方で、学習指導要領や幼稚園教育要領は概ね10年に1度、改訂が行われます。これは、社会の変化に対応して、教育の考え方もどんどんと進化していくからです。

このように考えると、教師という仕事は、教職に関わるしっかりとした軸を持ちながら、一人一人の子供の個別具体性を学び取るとともに、その子供たちが大人になる10年後、20年後の未来を予見しながら、新しい教育改革の考え方を学び続けていく必要があります。教師の専門性は、「学び続ける」ことこそ存在しているのです。

兵庫教育大学では、このような考え方のもと、「学び続ける教師」の育成を目指しています。本学での学修をスタートラインにして、生涯にわたって継続的に自己の専門性を高め続けていける、そんな力（CPD）を皆さんに獲得して欲しいと願っています。



兵庫教育大学 新・教員養成スタンダード

19の教職基盤

A 01- 豊かな人間性 教養、人権意識
02- 教職の意義と関係法規、学習指導要領、教育改革の動向等
03- 学校の組織マネジメントと働き方

B 04- 連携・協働、コミュニケーション、ファシリテーション

C 05- 子供の発達と学習

D 06- ダイバーシティとインクルージョンの教育

E 07- 学習者中心の学習観・授業観

08- 教科等の専門性と教材研究

09- 授業設計・実践・評価・改善

10- カリキュラムの 開発・実施・評価

11- STEAM 教育

F 12- ICT の利活用

13- 情報教育(含プログラミング教育、情報モラル・セキュリティ教育)

14- 教育データの活用

G 15- 生徒指導・生活指導

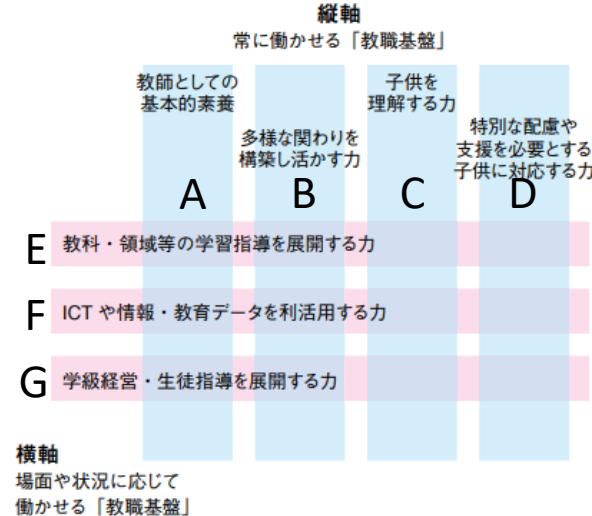
16- 学級経営、特別活動

17- 教育相談

18- キャリア教育

19- 防災教育、学校安全

「教職基盤」の領域構成



教師としての専門性の継続的な向上
(Continuing Professional Development)

学校教育における事象を、「教育基盤」との関わり視点で捉え、
多様と他者と関わりながら、省察的实践を展開し、自らを高め続ける

問いを持ち課題を設定する力
探究し実践する力
省察し改善する力

学修事項

学修機会

学びの
コミュニティ



経験から学び方を学ぶ

省察的な学びの
サイクル



関わりを通して認識や
経験の幅を広げる

自己の傾向性を知り、
認識を問い直す

教師としての潜在的な資質能力
(Growth Potential)

教員養成スタンダードの枠組み

教職

教員育成



カリキュラムポリシー

教養科目群

(アカデミックスキル科目、社会課題探究科目、理数系基礎科目、グローバルスタディーズ科目、表現コミュニケーション科目等)

教職共通科目群

(教育基礎科目、発達・心理科目、**連携協働科目**、**インクルージョン科目**等)

専門科目群

(教科教育、幼年教育に係る専門科目)

教育内容・方法科目群

(**学習観・授業観転換科目**、初等内容科目、初等教科・領域教育法科目、**STEAM教育科目**、**ICT・情報・データ利活用科目**、学級経営・生徒指導科目、教職支援科目)

教職探究・

リフレクション科目群

(教職キャリア発達科目、実地教育科目、インターンシップ科目等)

オレンジ:フラッグシップで新設した先導的科目



教職科目として新しく開設した科目

21単位

*：中高免には適用せず

テーマ	科目名	単位	授業方法	学年
教師の連携・協働	子どもの安全と学校組織	2	講演	1
	教師の連携・協働と学校経営	2	講演	3
	多機関連携と学校防災	2	講演	3
インクルージョン	インクルーシブ教育基礎論	2	講演	1
	インクルーシブ教育実践論	2	講演	2
学習観、授業観の転換	学習科学と授業のリデザイン	2	講演	2
	ラーニング・ファシリテーションの理論と実践	1	講演	2
EdTech	デジタル学習環境と情報活用	1	講演	1
	小学校プログラミング教育教材論*	1	講演	2
	情報モラル・セキュリティ教育論	1	講演	2
教育データサイエンス	教育データサイエンス	2	講演	1
STEAM教育	STEAM教育概論	1	講義	2
	STEAM教育演習	2	演習	2

学習指導系カリキュラムの構成

1・2年次

3・4年次

授業づくりの基礎・基本
(従来のコアカリ)

学習観の転換
新たに求められる学び

学びの個性化・専門性向上

CPDへの方向づけ

講義・演習・探究科目

初等教科内容科目
初等教科教育法科目
教職キャリア発達科目

学習観・授業観
転換科目
ICT・情報・
データ利活用科目
STEAM教育科目

多様な
選択科目
専門科目

転換した学習観の落とし込み

教職実践演習

初等教科授業デザイン科目

実地教育

学校観察実習

フレンドシップ実習

初等・中等基礎実習
&リフレクション

学校教育応用
実習
(選択)



現行の教職科目から減ずる科目

現行の教職科目は、ほぼ全てを2単位科目から、2つの1単位科目（例えば教育基礎論は、教育基礎論Ⅰと教育基礎論Ⅱ）に分割。Ⅰを必修（コアカリを満たす）、Ⅱは選択。

初等教科教育法は英語を除き2単位から1単位に（10科目必修）。初等教科内容科目は、10科目必修にしていたものを6科目選択必修に。

教科及び教科の指導法に関する科目	初等教科教育法 初等教科内容科目（各1単位）	10科目20単位必修 10科目必修	→ 10科目11単位必修 → 6科目選択必修	-9単位 -4単位	-13単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論 2→1単位、 教職原論 2→1単位 教育社会学 2→1単位、 発達心理学 2→1単位、	教育史 2→1単位 教育制度論 2→1単位 教育心理学 2→1単位	選択必修 必修 選択必修 選択必修	-1単位 -1単位 -1単位 -1単位	-4単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法論 2→1単位 総合的な学習の時間の理論と実践 2→1単位 教育相談論 2→1単位 特別活動論 2→1単位			-1単位 -1単位 -1単位 -1単位	-4単位

小学校1種免の場合



フラッグシップ大学の特例適用以外に新設した科目

必修	教職基盤探究（1単位） ※学校課題事例研究Ⅰを改廃
	小学校授業づくり入門（1単位）
	教育情報化概論（1単位） ※情報通信技術活用論を改廃
選択必修	初等教科授業デザイン10科目（各1単位） 5単位以上



授業評価を実施したフラッグシップ科目（試行を含む）

年度	科目名	試行科目	連携先	受講者数	平均値
4	AI・データサイエンス基礎			140	3.27
4	教育データサイエンス			96	3.20
4	STEAM教育演習（教養ゼミ）	○	加西市	14	3.92
4	教育情報化概論	○	ダイワボウ情報システム(株)	173	3.71
5	AI・データサイエンス基礎			145	3.47
5	教育データサイエンス		(株)MM総研	147	3.54
5	STEAM教育演習（教養ゼミ）	○	加西市、加東市 アドベンチャーワールド	36	3.79
5	インクルーシブ教育実践論 （障害者理解と支援（入門））	○		14	3.92
5	インクルーシブ教育実践論 （特別支援教育概説A）	○		103	3.76

4件法による

STEAM教育

- Phase I コア要素の開発
- Phase II シラバス開発
- Phase III 実践 (R7~)

- ✓ 「STEAM教育概論」：「総合的な学習の時間の理論と実践」の一部でコア要素を試行的に実施。
- ✓ 「STEAM教育演習」：「教養ゼミ」の一部クラスで試行的に実施。

[学修の意義]

各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育としてSTEAM教育の実施が求められている。STEAM教育科目では、STEAM教育の意義や教師としての在り方を学ぶ。

[今後の予定]

✓ R7より「STEAM教育概論」，「STEAM教育演習」を実装予定。



STEAM Labを
活用した授業

アワーズ、加西市教育委員会と
連携した授業実践
フィールドワークやワークショップ



「STEAM教育演習」試行実践の成果は、<https://doi.org/10.15117/0002000390> を参照